特集　あしがり郷　瀬戸屋敷
みんなの我が家

問 産業振興課 ☎84-0317

上から見た瀬戸屋敷

かつての暮らしを今に伝える

あしがり郷瀬戸屋敷は、足柄平野に形成された豊かな清流と水路、農地や屋敷林などからなる美しい農村風景を今に伝える重要な文化財です。

江戸時代に金井島村の名主を代々つとめた瀬戸家が、暮らしを営んできた瀬戸屋敷。平成13年に、所有者のご厚意により、町に寄贈されました。

その後、大規模な改修工事を経て、町指定文化財として大切に保存されてきました。

瀬戸屋敷は、来訪者と町民の皆さん、来訪者同士が交流を深めることのできる観光施設として、また生涯学習や地域活動の場として、幅広く利用されています。

心地良い風が吹き抜ける主屋

伝える

年中行事を伝えていく

最近では家庭で行われない年中行事も増えていますが、季節を感じる、子どもや家族の無病息災を願う気持ちは今も昔も変わりません。

瀬戸屋敷では、瀬戸屋敷倶楽部が中心となり、年間を通して様々な行事を行っています。

お正月の餅つき、端午の節句、七夕など、昔から伝わる年中行事を未来へ伝えるため、倶楽部の皆さんがイベントを企画し、運営しています。

瀬戸屋敷の住人として

瀬戸屋敷倶楽部
会長　遠藤　徳造さん（金井島）

瀬戸屋敷倶楽部のメンバーは、自分たちを「瀬戸屋敷の住人」と思いながら日々活動しています。

瀬戸屋敷を訪れる方に遠慮なく過ごしてもらえるよう、おもてなしをするボランティアで、年中行事を中心に活動しています。会員には、80歳を超えた方も所属しています。

倶楽部の活動は、一年を通してあり、なんでも自分たちでやらなければいけないので大変ですが、それぞれ自分たちのできることを生かしながら、無理なく続けています。

私たちのおもてなしが、瀬戸屋敷のイメージを左右するという緊張感は一年中ありますが、こうした活動を通して、私たち自身も成長していると感じています。

これからも、仲間と一緒に、瀬戸屋敷で皆さんをお出迎えしていきます。

年中行事

1月	お正月餅つき		
2月	節分の豆まき		
3月	ひなまつり		
5月	端午の節句・ホタル鑑賞会		
6月	あじさいまつり・風鈴まつり		
7月	七夕	11月	秋の市
9月	十五夜	12月	お正月準備

瀬戸屋敷の七夕

町の歴史を語り継ぐ

開成町は、時代とともに姿を変え、発展してきました。

先祖代々引き継がれてきた日々の暮らしや、四季を通じた地域でのしきたり、祭礼、行事など、時代の流れとともに忘れられてしまうものも多くあります。

瀬戸屋敷を文化財に指定し、保存することで、町の歴史を語り継いでいくことは、次世代を担う子どもたちにとっても大変価値のあることです。

「使う」文化財として

多くの文化財は保存のため触れることができませんが、瀬戸屋敷は、たくさんの方にご利用いただき、見て触れて親しむことのできる地域、観光、文化の拠点として活用しています。

ひなまつり、風鈴まつりを始めとする年中行事、蔵ひろば、あしがり学校など、年間を通して町民の皆さんが中心となって様々な魅力ある取組みがなされ、地域の「みんなの我が家」として、たくさんの町民の方々がその運営に関わっています。

今回は、そうした取組みをしている皆さんにお話を伺いました。